

令和3年度(令和2年度実施分) 施策評価 外部評価結果 一覧 (令和3年度 第2回・第3回 臼杵市行財政活性化推進委員会)

分野	コード	施策名	担当課	内部評価	評価のコメント	評価の結果	実施日
(1)健康福祉	I-1-1	①生涯を通じた健康的な生活習慣づくりの推進	保険健康課	最重点施策であり、来年度強化する	メタボリックシンドローム対策としての生活習慣の改善や朝食の摂取の推進などは、子どもから行うことが大切であるため、取り組んでほしい。メタボリックシンドローム対策は、その名前の親しみやすさや学校教育等であまり扱われていないことなどから、その深刻さが伝わらないように感じる。	1. 強化	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-1-2	②医療・保健・福祉の連携	保険健康課	最重点施策であり、来年度強化する	石仏ねっととマイナナンバーカードの連携など、市民の利便性がある内容については、積極的に行ってほしい。また、市内の医療機関全てで石仏ねっとが活用できるよう啓発を行ってほしい。医療に関わる部分で、ICTを活用する場合は、医師や現場が取り組みやすくなるよう利点を示することで、コロナ禍で負担の大きかった医療現場支援の仕組みを作してほしい。	1. 強化	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-2-3	③安心して産み育てるための支援	子ども子育て課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	ちあぽーとの一つの窓口で全て完結など、臼杵市が本当に子育てしやすい環境にあると感じている。就学前の健診についても、子ども園と連携し、健診受診の働きかけを行うなど、関係機関と連携した取り組みができていることを実感している。子ども数が減少していること以外は、臼杵市の子育て施策は順調だと感じている。	1. 強化	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-2-4	④地域における子育て環境の充実	子ども子育て課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	ちあぽーとでの相談件数をみて、相談体制が充実していると感じているので、気軽に相談できるよう今後も努めてほしい。また、臼杵市版母子手帳アプリ「ちあぽっと」は非常に良いものでもっと利活用を進めるため、取得の動員を推進してほしい。	1. 強化	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-2-5	⑤親育ち・家庭教育の推進	社会教育課	目標を達するため、現状維持とする	家庭教育学級が、子の楽しい遊びの場、親の関わり方を学ぶ場となっていると聞いているし、今後も、親が親としてあるべきための学習場は必要。特に、スマートフォンの普及によるSNSの管理などを親が学ぶ必要性を感じている。コロナ禍で学習機会が減るようであれば、オンラインで情報交換できる仕組みなどを考える必要がある。	2. 維持	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-3-6	⑥高齢者の生きがいづくりへの支援	高齢者支援課	目標を達するため、現状維持とする	高齢者は取り組み内容に応じてとなるが、命にかかわる部分は公助とし、それ以外の大部分は基本的に自助としてほしい。老人クラブやサロン活動などの地域での活動が活発に行われるようにするためには、リーダーの存在が大切となり、リーダーの現状を把握しながら、新たなリーダーを見つけ、育成することが大切。	2. 維持	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-3-7	⑦介護保険制度の円滑な運営	高齢者支援課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	家庭内で介護を行うことが困難になっている。様々な事業者にお願いすることが今後も増えてくることが想定される。使いやすく、融通が利き、利用しやすい、様々なサービスが提供できるようにしてほしい。介護判定までが決定するまでの間は家族がより不安を感じると思う、情報提供など細かなケアに努めてほしい。	1. 強化	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-4-8	⑧障がいのある人の社会参加・就労支援	福祉課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	障がいがある方に対し、施しではなく、機会を用意するようにしてほしい。行政としては、職業訓練などの手立てと企業や団体へのつなぐことなどにより働く場所の確保し、社会参加、就労支援に結びつけることができればと思っている。また、障がい者と健常者の違いを理解した上で、事業所等への就労支援を行うよう努めてほしい。	1. 強化	R3.10.20(水)
(1)健康福祉	I-4-9	⑨生活の安定と自立への支援	福祉課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	生活困窮を含め、何かあった時に市に連絡してもらえるような見守りが必要だが、見守りの仕方は、本人や家族の次第で違いが大きく難しい。学校でも貧困家庭の問題はあるが、見えにくい。生活の安定と自立の支援は家庭次第の面があり、取り組みにくい部分もあるが、暖かい臼杵市づくりを行ってほしい。	1. 強化	R3.10.20(水)
(3)防災	Ⅲ-7-12	①自主的な防災活動及び防災教育の推進	防災危機管理課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	自分の命は自分で守ろうという防災意識を高めるため、指標にある防災スタンブラリーや家具の転倒防止対策などは、より推進してほしい。また、日ごろから訓練を行っている認定子ども園などについても指標化等を検討してほしい。大規模災害のための備えが、新型コロナの自宅療養などでも活用できたことから、日ごろから防災意識を高めることが必要だと感じている。	1. 強化	R3.10.6(水)
(3)防災	Ⅲ-7-13	②防災に関する組織の育成・強化	防災危機管理課	目標を達するため、現状維持とする	災害が起きた時に適切な対応ができるよう、日ごろから近隣の住民同士で現状の確認をしたり、地域で防災学習を行ったりしながら、注意喚起し続けることが必要だと感じた。また、ジュニア防災リーダーの活動で、学校で一人ひとりに配布されたタブレットの活用方法について検討してほしい。	2. 維持	R3.10.6(水)
(3)防災	Ⅲ-8-14	③防災・減災のための環境整備	建設課	目標を達するため、現状維持とする	危険箇所は、指標の目標値に関わらず、各年度できるだけ多く施工してほしい。地域のため池や水路の維持管理は高齢化により、住民で行うことがどんどん困難となっている。市内の危険箇所の把握状況を確認したい。	2. 維持	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-9-15	①観光資源の磨き上げと創出	おもてなし観光課	最重点施策であり、来年度強化する	昨年度からの観光の企画、別府との対決、ふぐ割、美仏コンテストなど面白いと感じるものが多い。観光協会を法人化したことで、取り組みを充実させ、それをきっかけに観光全体を強化してほしい。臼杵のシンボルである国宝臼杵石仏に常時観光客が訪れるように関係団体等とともに、知恵を出し合ってほしい。また、市民全体で街を綺麗にするなどして、観光を盛り上げる機運づくりができる良いと感じた。	1. 強化	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-10-16	②商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化	産業促進課	目標を達するため、現状維持とする	商店街の空き店舗を活用して出店する際の情報をよりスムーズに得ることができるような窓口体制を作り、借りたい人がアプローチしやすい状況づくりに努めてほしい。	2. 維持	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-10-17	③地場企業の育成・企業誘致	産業促進課	最重点施策であり、来年度強化する	指標としては順調に推移している。市の魅力を生かした起業を行う動きなど、市のPRと雇用と両立するような取り組みも出てきている。野津工業団地は、大規模であるため、誘致する企業は十分検討が必要。市内の製造業の2本柱は、造船業と醸造だが、造船業は今後事業縮小の懸念がある。	1. 強化	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-10-18	④雇用の確保・就労支援	産業促進課	目標を達するため、現状維持とする	コロナ禍でもコロナ主因となる倒産がなく、辛抱強い臼杵の人の気質を示していると感じている。正常化まで、期間がかかと思うので、観光関連業はこの冬も厳しくなると予想している。行政としては、必要な資金支援をしながら、商流や販路支援、また、ふぐ割等のイベントを行うことで、企業を支援してほしい。	2. 維持	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-11-19	⑤農林業の経営基盤強化と担い手育成	農林振興課	目標を達するため、現状維持とする	農林業の経営基盤の弱さは、補助金に頼ってきたこれまでの施策の結果で、日本全体の問題。規模を拡大するか、販売単価を上げるかのどちらか実現させなければ解決はできないと考えている。現状のままだと産業自体の衰退が懸念され、強化して取り組む必要があると感じている。担い手確保のため、フリーターの活用(様々な事情で職についていない若者を雇用する)など、これまでとは違った対応策を検討できないか。	2. 維持	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-11-20	⑥「有機の里うすき」の実現	農林振興課	最重点施策であり、来年度強化する	有機農業の需要は、伸びしろがあり将来性は高く、また、指標にある販路も確保できているのであれば、支援を継続し、有機農業でのビジネスモデルが構築することができれば、非常に将来性の高い施策になると感じている。学校給食に有機野菜を出すことは、サイズや量のこともあり、できる範囲での実施に切り替えてはどうか。	1. 強化	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-11-21	⑦安定的な水産業経営の充実	産業促進課	目標を達するため、現状維持とする	海水温上昇などの環境面の問題もあり、漁獲高自体が減り、さらに魚価単価も下がっていて、危機的な状況だが、問題が大きく、市や市民レベルでは解決が困難。養殖業は、外部からの新たな資本を活用することで産業として継続することが可能だと感じている。また市としてブランド化する魚介類を決め、より高額化するための企画作りを検討できないか。ふるさと納税の返礼品は豪華化で好評を得ており、また、市内の料理店で提供する海鮮丼などは、評価が高く、近隣から来訪いただいている。	2. 維持	R3.10.6(水)
(4)産業・観光	Ⅳ-11-22	⑧うすきブランドの開発と6次産業化の推進	産業促進課	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する	行政の仕事は、品物をブランドとして認証し、その販路を斡旋していくことなので、しっかり取り組んでいると感じている。外部人材のアイデアや様々な場面を活用して専門家等のアドバイスを心得、商品の見せ方や情報発信の仕方なども研究しながら、販路をより確保できるよう取り組んでほしい。	1. 強化	R3.10.6(水)

外部評価の内容

1. 強化

2. 維持

3. 検討